



大町市の企業紹介 49

— 地域を支える地方企業 —

「広報おおまち」では、市内の企業を紹介しています。内容は企業から提出いただいた原稿を基に掲載しています。掲載を希望する企業は、産業立地戦略室(〒190-8541)までご連絡ください。

株式会社関電アメニックス北アルプス交通事業部

地域唯一の貸し切りバス安全性評価二つ星事業所

当社は、昭和36年7月に、関電産業(現：関電不動産(株))が「世紀の大工事」といわれた黒部川第四発電所建設工事の従事者を輸送する目的でバス事業を創設したことが始まりで、同年10月にバス部門の新会社「北アルプス交通(株)」を設立し独立しました。黒部ダムが完成後関電トンネルトローリバスが運行を開始した昭和39年8月1日に、信濃大町駅から扇沢駅までの路線を開設し、現在まで50年間黒部ダムなどを訪れる多くのお客さまにご利用いただいております。平成16年10月には会社合併し、(株)関電アメニックス北アルプス交通事業部として、乗合バス11両、貸し切りバス15両で営業しております。

事業内容としては、前記の信濃大町駅から扇沢駅間の路線バス、大町市より受託の大町市民バス「ふれあい号」



8路線の運行、また、地元の皆さまにご愛顧いただいております貸し切りバスを全国へ走らせております。23年には、自動車安全運転センターより、優秀安全運転事業所「プラチナ賞」を県下バス事業者では唯一受賞、25年9月には、貸し切りバス安全性評価認定二つ星を松本平の事業者としては唯一取得しております。今後も皆さまに「安全で快適な旅」を提供できるよう努めてまいります。

- 所在地: 大町市平180-8(野口) TEL22-0799
- ホームページ: <http://www.k-amenix.co.jp/>
- 代表者: 取締役社長 荒川功一
- 事業内容: 一般乗合旅客自動車運送事業、一般貸切旅客自動車運送事業

アルピコ交通株式会社 大町営業所

立山黒部アルペンルートの玄関口

大町市の二次交通を担います

当社は、アルピコグループの一員で、松本電鉄から社名を変更し、平成22年からアルピコ交通(株)として新たな出発をしています。本社は松本市にありますが、長野支社、諏訪支社を置き、信州をネットワークする交通事業を展開しています。

主な路線は、長野市と大町市を結ぶ「長野ー大町線」と信濃大町駅と立山黒部アルペンルートの入口である扇沢駅を結ぶ「扇沢線」で、立山黒部アルペンルートの営業期間中「長野ー大町線」は、扇沢駅までの延長運転も行っています。また、夏の最盛期には、期間限定で、扇沢駅から大町温泉郷や白馬村を経由し小谷村までをつなぐ「アルペナライナー」の運行を行い、大北地区を訪れる観光客の皆さまの足も担っています。27年3月には北陸新幹線の金沢駅までの延伸により、大町市を中心とした大北地区には大勢の観光客が訪れることも予想されます。首都



- 所在地: 大町市大町3037(光明町) TEL22-1161
- ホームページ: <http://www.alpico.co.jp/traffic/>
- 代表者: 代表取締役社長 古田龍治
- 事業内容: 一般乗合旅客自動車運送事業

圏のみならず北陸地方から訪れるお客さまの交通手段を確保し、大町市の観光への利便性を微力ながら支えてまいりたいと考えています。大町営業所は、車両台数6台と当社の中では大変小さな営業所ですが、地域の皆さまおよび大町市を訪れる観光客の皆さまの「安全・安心」を理念として、「快適」な輸送サービスを行ってまいりますので、今後とも当社および当社グループを「愛顧いただきますようお願い申し上げます。